

# 住民主体で農家レストラン兼宿泊施設、見守り配食サービスを運営し、地域コミュニティを活性化



問い合わせ先 宇和島市総務部企画情報課

☎ 0895-49-7003 ■ <http://www.city.uwajima.ehime.jp/>

- 住民主体の運営による、集落で初の農家レストラン兼宿泊施設をオープンし、地域内の経済循環により地域が活性化
- 同施設で20人以上の高齢者に弁当を宅配しながら、安否確認などを行う見守り配食サービスを運営し、住民自身による地域福祉が向上



旧保育所を改修した、みまきガーデンの外観



↑ 宿泊施設の内観 → 食堂での飲食風景



## 取組の背景 高齢化が進む集落で、地域活性化と旧保育所の活用が課題に

- 宇和島市の中山間地に位置する人口353人、高齢化率59%の小規模高齢化集落である御槇(みまき)地区では、住民による集落再生に向け、豊富な観光資源を活かした地域活性化の取組を模索していた。また、廃所となり、使われていなかった旧保育所を農家レストラン・宿泊施設に有効活用したいとの要望があったものの、多額の改修費や運営費などが課題となっていた。

## 取組の概要 旧保育所を拠点に飲食・宿泊施設及び見守り配食事業を運営

- 地区の女性と市が協働して検討を重ね、女性自身が計画を立て、様々な地域における視察を経て、地区の自治会長や団体の代表者など、地域活動に熱心な住民で構成される「御槇ふるさとづくり活動推進協議会」が事業主体となり、総務省の交付金を活用して旧保育所を改修し、地区住民による草刈りやペンキ塗りなどの協力も得て、平成26年4月に集落で初めてとなるお食事処&宿泊処「みまきガーデン」をオープンした。
- また、平成26年10月から、高齢者の見守り配食サービスを開始し、20人以上の高齢者へ週1回弁当などを配達し、声かけによる安否確認や体調変化の観察などの見守りも兼ねて行っている。
- みまきガーデンでは、地区の女性4人を常勤で雇用し、繁忙期にはパートも含め6~7人で運営している。平日は主に地域内住民を対象として惣菜を販売し、土日はランチバイキングを実施している。

## 取組の成果 住民の地産地消などにより、地域内の経済循環と福祉が向上

- レストランや宿泊施設の整備により、観光客が滞在できるようになるとともに、ランチバイキングに地域内外から多数のリピーターが訪れるなど、地域活性化に貢献している。また、これまで地域外へ発注していた仕出し弁当の注文が多数入るなど、みまきガーデンを軸に、雇用と地域内の経済循環が生まれている。
- 高齢者見守り配食サービスの実施により、地区内の高齢者の健康状態などの定期的な確認やふれあいの維持が可能となり、利用者である高齢者本人や家族からは、「毎週配食の日が来るのが待ち遠しい」、「話し相手ができるうれしい」、「自分で料理しなくてよい日ができる助かる」などの評価を受け、地域福祉が向上している。サービスの利用者数も17人(平成26年10月時点)から28人(平成27年9月現在)と着実に増加している。



地元の農産物をふんだんに使ったランチバイキング



地区内の高齢者を戸別に訪問して、食事を届ける見守り配食サービス

## 地方分権改革との関連

- 地域の過疎化が進む小規模高齢化集落において、地域の女性を中心とした住民の発意と行動により、レストラン・宿泊施設と高齢者見守り配食サービスの運営が行われ、地域内の経済循環と福祉の向上が図られている。